

倉吉市制70周年祝う

和太鼓演奏など式典に花

名誉市民の称号贈呈も



広田市長から称号記を受け取る広川社長(右) 29日、倉吉未来中心

倉吉市制施行70周年を祝う記念式典が29日、倉吉未来中心で開かれた。広田一恭市長が「鳥取中部地震やコロナ禍など、地域の助け合いに支えられて乗り切ってきた」と振り返り、「倉吉のよさを共有し、活気あふれるまちづくりに努めたい」と決意を語るなど、市民らが同市の節目を祝った。

(井田慎一)

式典では、同市内に製造工場がある、食品容器の製造、開発を手掛けるエース

10/30

川仁氏への称号贈呈が行われ、同社の広川信也社長に称号記が手渡された。広川社長は「本人がこの場にいれば恐縮していただろう。倉吉のみなさんには、感謝してもしきれない」と謝辞を述べた。

バック(大阪市)の創業者で9月に10人目となる同市と「和太鼓LEGEND」と

子どもたちの和太鼓演奏グループ「打吹童子ばやし」

MALTAさんから聴衆魅了

天女音楽祭が同時開催

倉吉市制施行70周年記念式典が開催された29日、式典会場の倉吉未来中心で「音楽のまち倉吉」を発信する、第19回倉吉天女音楽祭(実行委主催)が同時開催された。音楽祭の総合プロデューサーで同市出身のジャズ・サクソフ奏者、M

含む6曲を熱演した。新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの通常開催となり、観客らは生の演奏を久しぶりに堪能した。

中部少年少女合唱団MIRAIの清らかな合唱で幕を開け、MALTAさんが音楽祭に向けて県中部の音楽愛好家らで結成された同音楽祭吹奏楽団との共演を

同市丸山町の主婦、広谷静枝さん(74)は「歌っている子どもたちの頼もしい姿に、倉吉の明るい未来が見えた」と感動した様子で話した。

(井田慎一)



極上の演奏で来場者を魅了するMALTAさん 29日、倉吉市の倉吉未来中心